2026年5月期　第1四半期

決算説明資料

2025年10月10日(金)

ダイト株式会社

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

Ⅰ. FY2026 1Q決算概要

決算ハイライト

売上高	✓ 130.1億円、前年同期比で +3.3億円、2.6%の増加 原薬の減少を製剤の増加で打返し、全体で増収
売上総利益	✓ 25.5億円、前年同期比で +3.0億円、13.7 %の増加 売上高の増加に加え、棚卸資産の評価減の改善、円高による原材料費の低減等により増益
EBITDA	✓ 20.4億円、前年同期比で +1.4億円、7.9%の増加 売上総利益の増加により、EBITDAも増加。但し、販管費も増加（後述）
営業利益	✓ 9.9億円、前年同期比で+ 1.4億円、17.6 %の増加 販管費はコスト構造改革費（一時費用）及び研究開発費などで増加。但し、売上総利益の増加で打返し増益確保
EPS	✓ 23.24円、前年同期比で+3.03円、15.0 %の増加 各段階利益が全て改善し、EPSは上昇　※2025年6月1日付の株式分割反映
営業CF	✓ 17.2億円、前年同期比で +9.7億円、132.1%の増加 税引前当期純利益は減少するも、資本コストを意識した在庫管理の高度化等により大幅に改善

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

決算ハイライト

- 売上高は原薬は減少、製剤はGx製品及びOTC製品が大幅に増加し、前年同期比 **+3.3億円、+2.6%の増収着地**
- 利益面は、コスト構造改革費（一時費用）及び研究開発費などの販管費は増加したものの、売上高の増加、棚卸資産評価減の改善、円高による原材料費の低減により、営業利益ベースで前年同期比 **+1.4億円、+17.6% と増益を確保**

（単位：百万円、%）

	2025/5期 1Q	2026/5期 1Q	前年同期比増減
	金額	金額	%
売上高	12,678	13,011	+2.6
EBITDA	1,891	2,041	+7.9
営業利益	849	998	+17.6
経常利益	983	1,052	+7.1
親会社株主に帰属する当期純利益	618	696	+12.8
EPS（円）*1	20.21	23.24	+15.0
配当金（円/株）*1	35.00	40.00	–
研究開発費*2	549	621	+13.1
減価償却費	1,042	1,042	+0.1
設備投資額	461	2,246	+387.0
為替（円/ドル）	154.13	146.33	–

*1 6月1日付効力発生の1：2の株式分割を考慮したEPS及び一株当たり配当金　*2 研究開発費には、開発部門の減価償却費、及び当該部門の人件費の変動を含む

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

カテゴリー別売上高

- 原薬は前年の新製品発売の反動減や販売先の在庫調整などから、△3.7億円、△5.8%の減少
- 製剤は、製剤はGx製品及びOTC製品が大幅に増加し、全体としては +6.9億円、+11.1%と堅調に推移

（単位：百万円、%）

			2025/5期 1Q	2026/5期 1Q	前年同期比増減(%)
原薬			6,391	6,017	△ 5.8
	製品 *		5,862	5,517	△ 5.9
		自社品Gx	5,429	5,257	△ 3.2
		受託製造	432	260	△ 39.8
	商品 *		529	500	△ 5.4
製剤			6,247	6,944	+11.1
	製品 *		5,562	6,224	+11.9
		自社品Gx	3,050	3,779	+23.9
		受託製造(医療用)	1,678	1,450	△ 13.6
		受託製造(OTC)	833	994	+19.4
	商品 *		684	719	+5.0
		Gx	528	647	+22.7
		OTC	156	71	△ 54.4
健康食品			38	49	+26.2
売上高合計			12,678	13,011	+2.6

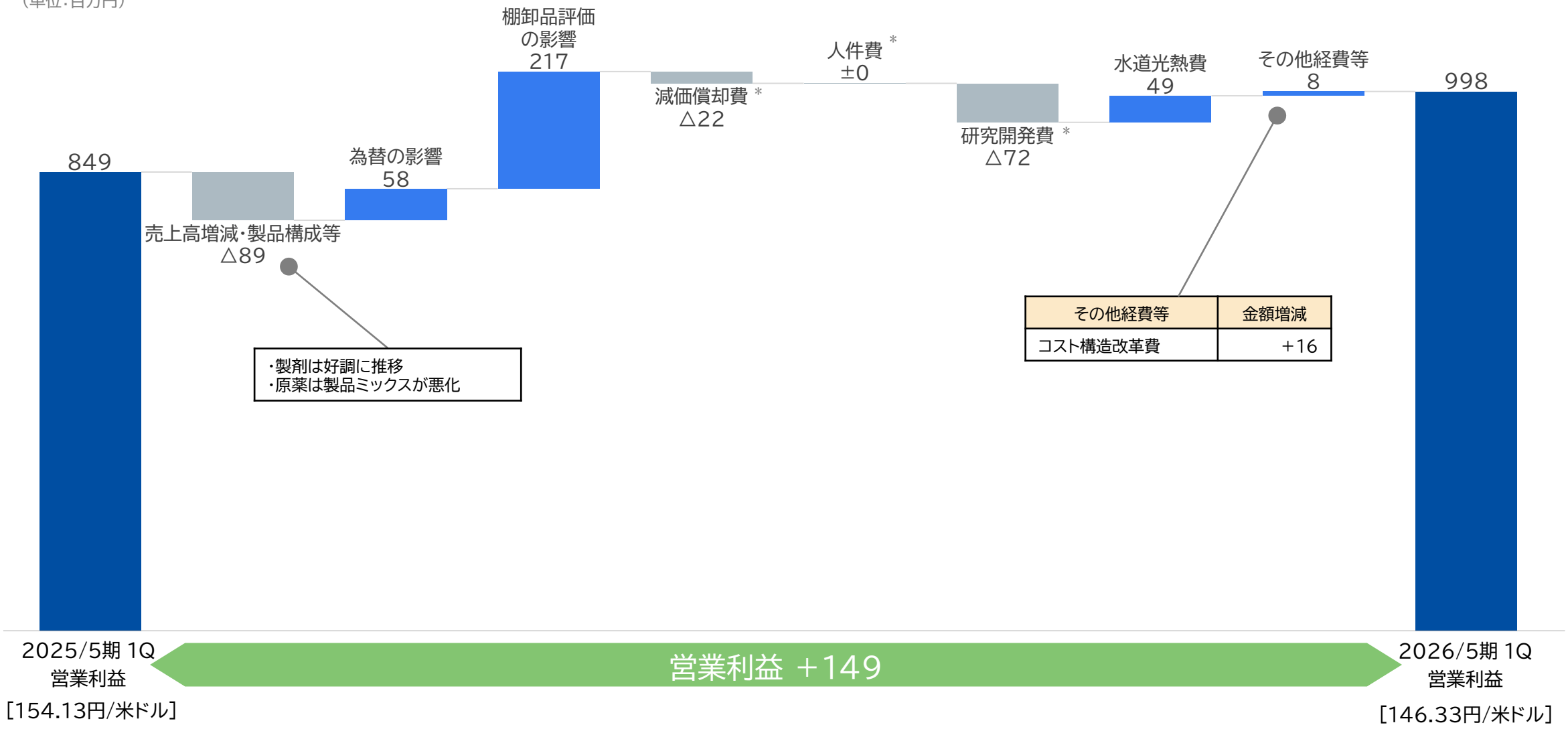
＊「製品」とは当社グループ内にて製造または品質保証を行っているもの

＊「商品」とは「製品」に該当しない医薬品、原薬、または賦形剤等。いわゆる取扱品

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

営業利益の増減分析

（単位：百万円）



＊研究開発費には、開発部門の減価償却費、及び当該部門の人件費の変動を含む。本チャートの減価償却費、人件費は、研究開発費以外の要素について表示。

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

要約貸借対照表

- 資本コストを意識したB/Sマネジメントに基づき在庫の適正化に注力し、前期末からの圧縮を継続。棚卸資産は**△2.5億円、△1.4% 減少**
- 5月末に続き、8月末休日の影響等により、売上債権は **+2.2億円、+1.1% と横ばい**
- 品質保証体制強化のための設備投資見合いの調達を既存の償還で相殺、有利子負債は **+0.5億円、+0.4% と横ばい**

（単位：百万円、%）

		2025年5月末	2025年8月末	増減率
流動資産		41,708	41,370	△ 0.8
	現金及び預金	2,207	2,149	△ 2.7
	売上債権 *	20,195	20,415	+1.1
	棚卸資産	18,414	18,156	△ 1.4
固定資産		36,296	37,467	+3.2
資産合計		78,004	78,838	+1.1
流動負債		17,049	17,709	+3.9
	仕入債務 *	8,266	9,408	+13.8
	短期有利子負債	3,457	3,494	+1.1
固定負債		8,887	8,913	+0.3
	長期有利子負債 *	8,429	8,445	+0.2
負債合計		25,936	26,622	+2.6
純資産合計		52,067	52,215	+0.3

＊ 電子記録債権、電子記録債務を含み、ファクタリング債権、ファクタリング債務を含まない
＊ 長期融資利子負債には、リース債務を含む

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.

要約キャッシュフロー計算書

- 営業CFは、税引前利益の減少の影響あるも、**売掛債権回転期間の短縮**や前年からの**在庫管理の高度化が定着**し、前年同期比 **+9.7億円、+132.1%の大幅改善**
- 投資CFは、前期までの設備投資のピークアウトに加え、資本コストを加味した政策投資株式の売却等も寄与し、**3.9億円の支払超過に留まる**

（単位：百万円、%）

	2025/5期 1Q	2026/5期 1Q	前期比増減率
営業キャッシュ・フロー	741	**1,720**	+132.1%
税引前利益	1,392	**1,054**	△ 24.3%
減価償却費	1,042	**1,042**	+0.1%
売上債権の増減額（△は増加）	△ 2,002	**△ 186**	–
棚卸資産の増減額（△は増加）	△ 694	**265**	–
仕入債務の増減額（△は減少）	2,211	**1,088**	△ 50.8%
法人税等の支払額	△ 520	**△ 340**	–
投資キャッシュ・フロー	△ 3,663	**△ 392**	–
有形固定資産の取得による支出	△ 3,280	**△ 387**	–
財務キャッシュ・フロー	4,876	**△ 1,456**	–
短期・長期借入金のネット収支	5,334	**△ 933**	–
現金及び現金同等物の期中増減額	1,965	**△ 58**	–
現金及び現金同等物の期末残高	4,693	**2,149**	△ 54.2%

Copyright Daito Pharmaceutical Co., Ltd.